

新人保育士のリアリティショック尺度の開発

— ストレス尺度との関連 —

○松浦美晴¹・上地玲子¹・井皆川順²・岡本響子³・岩永誠⁴

(¹山陽学園大学・²浦和大学・³天理医療大学・⁴広島大学)

背景

保育士の早期離職の要因の1つにリアリティショック、すなわち「予期しなかった苦痛や不快さを伴う現実」(Kramer, 1974)が考えられる。これは、予期と実際との認知的不整合がストレス源となつてストレスが生じる過程といえる(岡本・岩永, 2015)。ギャップの認知とストレス反応を測定し、どちらも大きいときリアリティショックといえる。松浦ら(2017)は、新人保育士の予期と実際とのギャップの認知の尺度を開発するためインタビュー内容から項目を作成し、保育士リアリティショック(RS)予備尺度とし、5因子を抽出した。この尺度と併用できるコンパクトなストレス反応尺度が必要である。本研究では、保育士ストレス(S)反応予備尺度を作成し、保育士RS尺度とともに妥当性を検討する。

方法

質問紙 (1)保育士RS予備尺度 51項目の内容に対し、ギャップの程度を「3」:「ない」とする5段階評定を求めた。(2)保育士S反応予備尺度 新人保育士のストレス反応を測定するため、就職1~4年目の保育士へのインタビューから10項目を作成し、「新卒看護師のリアリティショックの構成因子」(平賀・布施, 2007)を参考に7項目を加え、計17項目への5段階評定を求めた。(3)妥当性の検討には、保育士ストレス評定尺度(赤田, 2010)、職場ストレス反応尺度(小杉, 2004)を用いた。予期と実際とのギャップはストレスになる場合とならない場合がありうる。保育士RS予備尺度と、保育士ストレス評定尺度の測定するストレスイベント認知との間には中程度の相関が予想される。保育士S反応予備尺度は、職場ストレス反応尺度との間の強い相関が予想される。**対象者** 岡山県内および滋賀県大津市内の保育施設に2016年4月から勤務する保育士。2016年7月、10月、2017年1月に郵送調査(Web回答可)を行い、延べ323名の回答を合わせて分析に用いた。各下位尺度の項目評定値の平均を算出し、尺度値とした。統計解析にはSPSSを用いた。

結果と考察

回答者数から、Pearsonの相関係数.30以上,.50未満を中程度の相関,.50以上を強い相関と判断した。保育士RS予備尺度と保育士ストレス評定尺度との相関(表1) 保育士RS予備尺度の因子と保育士ストレス評定尺度下位尺度の間で多くが中程度の相関を示し、尺度の妥当性を支持する結果であった。内容が似ている尺度同士の相関は強く、ギャップの認知=ストレスの認知であることが示唆された。保育士S反応予備尺度と職場ストレス反応尺度との相関(表2) 保育士S反応予備尺度項目に因子分析(最尤法,プロマックス回転)を行った。負荷量が.35未満またはダブルローディングする項目を削除し分析を繰り返し、「精神的ストレス反応」「身体的ストレス反応」の2因子が抽出された。2因子とも、職場ストレス反応尺度の下位尺度との間に、中程度から強い相関を示し、妥当性はある程度示された。精神的ストレスと身体的ストレスは共起関係にあると考えられた。

本研究は、平成27~29年度科学研究費補助金挑戦的萌芽研究「保育士のリアリティショックの測定尺度開発と早期退職を防ぐプログラムの提案」(課題番号15K13152)による研究成果の一部である。

表1 保育士RS予備尺度と保育士ストレス評定尺度の相関

	保育士RS尺度				
	業務負担の重さ	サポートのなさ	心の支え	能力不足	待遇の悪さ
子ども対応・理解のストレス	.326**	.301**	-.116*	.379**	.102
保 職場人間関係のストレス	.385**	.652**	-.116*	.159**	.399**
評 士 保護者対応のストレス	.177**	.262**	-.142*	.087	.115*
定 ス 時間の欠如によるストレス	.601**	.433**	-.121*	.219**	.435**
尺 レ 給料待遇のストレス	.369**	.377**	-.030	.116*	.562**
度 ス 保育所方針とのズレによるストレス	.204**	.568**	-.285**	-.017	.358**

*: p<.005, **: p<.003

表2 保育士S反応予備尺度と職場ストレス反応尺度の相関

	保育士S反応予備尺度	
	精神的ストレス反応	身体的ストレス反応
職 憂うつ感	.684**	.580**
反 場 イライラ感	.497**	.451**
応 ス 身体不調感	.453**	.560**
尺 ト 緊張感	.540**	.406**
度 レ 疲労感	.648**	.445**

*: p<.005, **: p<.003